

会議録

会議の名称		第3回豊中市環境審議会 第13期	
開催日時		令和3年(2021年)7月30日(金) 14:00-16:00	
開催場所		第一庁舎2階大会議室 (WEB開催)	公開の可否 <input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 不可・一部不可
事務局		環境部環境政策課	傍聴者数 0人
公開しなかった理由		-	
出席者	委員	上甫木委員、小杉委員、小谷委員、田中晃代委員、花嶋委員、前迫委員、加納委員、山西委員、大橋委員、田中偉夫委員、松本委員、熊本委員、廣田委員	
	事務局	糸井部長、甫立次長兼環境政策課課長、山本主幹、多々主幹、濱崎課長補佐、豊田係長、今川主査 減量計画課 渡邊課長補佐、鈴木係長 事業ごみ指導課 池田係長 公園みどり推進課 奥田係長	
	その他		
議題		<ol style="list-style-type: none"> 1. 諮問(第2次豊中市地球温暖化防止地域計画の中間見直し) 2. 令和3年度(2021年度)第13期環境審議会等のスケジュール 3. 第2次豊中市地球温暖化防止地域計画中間見直し 4. 環境基本計画の進行管理 5. その他 	
資料		資料1: 諮問について 資料2: 令和3年度(2021年度)第13期環境審議会のスケジュールについて 資料3: 第2次豊中市地球温暖化防止地域計画中間見直し骨子案 資料4-1: 令和3年度(2021年度)協働の取組みに関する意見交換会実施結果 資料4-2: とよなかの環境～2020年度速報版～ 参考資料 第13期環境審議会名簿 参考資料 豊中市環境基本条例 参考資料 豊中市環境審議会規則 参考資料 第2次豊中市地球温暖化防止地域計画	
審議等の概要 (主な発言趣旨)		別紙のとおり	

○事務局

- ・会議の進め方の説明
- ・資料の確認
- ・出席状況の確認
- ・事務局の紹介

○会長

今回の環境審議会は全員が Web で参加されています。事務局からもご説明ありましたように、発言を希望される場合はジェスチャーや挙手機能を利用されるか、手をカメラにかざしてください。その上で私がお指名いたしますので音声をオンにしてご発言ください。事務局の方は、私が気づいてない場合はお知らせください。

まず案件 1、諮問について事務局から説明をお願いします。

1. 諮問（第 2 次豊中市地球温暖化防止地域計画の中間見直し）

○事務局

資料 1-1 の説明

○会長

諮問の趣旨・内容は理解しましたので、本審議会において調査・審議させていただきたいと思えます。

次の案件 2、令和 3 年度第 13 期環境審議会等のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

2. 令和 3 年度第 13 期環境審議会等のスケジュール

○事務局

資料 1-2 の説明

○会長

ただ今の説明に関してご意見やご質問がありますか。特によろしいでしょうか。それではこのスケジュールで進めていきたいと思えます。続いて案件 3 の第 2 次豊中市地球温暖化防止地域計画中間見直しにつきまして、計画の中間見直し骨子案に関する考え方及び部会の設置について事務局から説明をお願いします。

3. 第 2 次豊中市地球温暖化防止地域計画中間見直し

○事務局

資料 1-3 の説明

○会長

ただ今の説明に関してご意見やご質問等ございますか。

○委員

2点確認させてください。骨子案の1ページ一番下に「目標設定は、以下の方法で検討し、2030年(2027年)と2050年で新たな目標を設定する」と書いてあるが、この数値を変えていくことも含めて検討されるということは、環境基本計画に書いてある目標値や期間も変わるのでしょうか。また、2ページの最後のところで「指標の値を更新する」と記載がありますが、こちらの指標とは何をさしていますか。

○事務局

1つ目について、来年度に環境基本計画の見直しを考えており連動して変えていきたいと考えています。

モニター指標の設定は、新たに再生可能エネルギーの目標値を設定しくことを検討していますので、再生可能エネルギーの購入量も指標として管理を行うとことを記載していきたいと考えています。

○委員

1つ目は、今年の見直しで数値が変われば、来年環境基本計画の見直しの際に目標値も反映していくという理解でいいでしょうか。

2つ目について、ご回答は、2ページの「さらに、再生可能エネルギー購入量も指標として管理を行うことを記載する」という部分のご説明かと思いますが、その前段の「また指標の値を更新する」の「指標」について確認をしたいという質問だったのですがいかがでしょうか。

○事務局

現状のモニター指標についても、精査しながら更新していきたいという考え方です。

○委員

環境基本計画などにあるような代表指標以外の指標も見直すのでしょうか。いわゆる削減の試算などをされるという意味ではないということですか。

○事務局

一人あたりの目標値も設定がゼロになっていくので、そのあたりも変わっていくと思います。その他についても調整して変更する箇所がございますので、併せて検討したいと考えています。

○会長

最初の質問について、目標設定を変えた場合には各環境目標の値も検討しなければならないと思いますが、スケジュールとしては速やかに改正作業に入るという理解でいいでしょうか。

○事務局

はい。来年度の環境基本計画の見直しでも反映していきたいと考えています。

○会長

わかりました。指標の値や指標そのものの見直しも必要になるということですね。

○委員

全体的に見直しされるということが理解できました。

○委員

1 ページ下段の目標設定について、2050 年はバックキャストイング、2030 年はフォーキャストイングで行うとありますが、手法が変わっていくことについて、その変換点はどうなるのでしょうか。それに、2030 年の目標を達成する難易度といたしますか、残り 9 年という中でどれぐらいの努力が必要になるのでしょうか。

○事務局

目標設定の考え方ですけれども、現行の「チャレンジ70」の70%削減という数字も、バックキャストイング方式で、2050 年にはこの程度削減しなければ温暖化が進んでいくという設定をしています。その達成のために、当面は2030年に向けていかに取組みを進めるかによって、その後の影響が緩和されるか、それとも大幅に温暖化が進むかということで、2030年が岐路に立つ年度として設定されています。2030年に向けて、50%削減という目標をどのように積み上げて達成していくかということを考えていきたいと思えます。

○委員

2030 年に向けて積み上げていくということは、そこを達成していくことで 2050 年の最終目標も達成できるということでしょうか。

○事務局

2030 年、また 2050 年に向けてはどのような施策や技術革新があれば目標達成できるのかということ部会でも議論していきたいと考えています。

○委員

今後の議論ということですね。わかりました。

○委員

1 ページに 2027 年についても同様に目標設定するということが書かれています。豊中市の環境基本計画の10年目の区切りかとは思いますが、国内では2030年、2050年が一般的な目標なので、2027年というのは疑問を持たれるのではないのでしょうか。2030年、2050年というのがわかりやすくてよいかと思えます。

○事務局

2027 年というのは、計画の期間ですので、市としてはめざすべき年度として設定しておく必要

があると思います。ただし、国や世界の目標である 2030 年、2050 年も見据えて計画は策定していきたいと考えています。

○会長

大まかな骨子案はよろしいでしょうか。

具体的な進め方について提案があるのですが、環境審議会規則第 7 条第 1 項で、会長が必要と認めるときは、本審議会に部会を置くことができると規定されています。第 2 次豊中市地球温暖化防止地域計画の見直しを行うため、「温暖化対策検討部会」を設置したいと思います。よろしいでしょうか。

○一同

異議なし

○会長

ありがとうございます。異議がないので部会を設置したいと思います。それでは、環境審議会規則第 7 条第 2 項の規定により、部会は会長が指名する委員及び専門委員で組織することになっておりますので、私からご指名させていただきます。事務局より、先立って指名した方々について提示いただけるでしょうか。

○事務局

委員名を提示

○会長

以上の 7 名で部会を設置したいと思いますがよろしいでしょうか。また、環境審議会規則第 7 条第 3 項の規定により、部会に部会長を置き、部会に属する委員から会長が指名することになっておりますので、エネルギー関係の専門家である委員にお願いしたいと思います。

4. 環境基本計画の進行管理

○会長

続きまして、案件 4 の「第 3 次豊中市環境基本計画の進行管理について」です。今年度実施した「協働の取組みに関する意見交意見交換会」の結果をふまえて、その後、豊中市環境報告書「とよなかの環境～2020 年度速報版～」(案)の審議を進めたいと思います。それでは、「協働の取組みに関する意見交換会結果概要」について事務局から説明をお願いします。

○事務局

資料 4-1 の説明

○会長

こちらについてご意見はありますか。

○委員

昨年度の意見交換会でも、若い世代の情報発信が難しいということでワーキンググループをつくるという話になっていたと思いますが、その後は参加者同士で研究会をつくるなど新たな進展があったのでしょうか。

○事務局

昨年度は、ワーキンググループの発展などについて市からの働きかけは行っていませんが、特に大阪大学を中心に進捗がありました。今年度は、協働をどのように図っていくか、特に再エネを中心にどういった連携ができるかということについて市民団体の皆様にも発表いただき、また先進的な自治体にも視察にも行かせていただきながら、市としても取組みを検討したいと考えています。また、広域的な取組みとして、隣の吹田市や、NATS と呼ばれる近隣市との連携も検討いたします。

○委員

大阪大学はどのような取組みをされているのか。

○事務局

関西電力やセブンイレブンと通学用バイクのバッテリーシェアリングをされています。そういった取組みに市も参画できないか、また他の大学等との連携もできないか検討しているところです。

○委員

「見える化」はこれまで行政としても取組んでこられたのではないかと思います。これをさらに進めるということでしょうか。それとも行政として施策への反映がなされてこなかったということでしょうか。このあたり行政として今はどの程度実施されているのでしょうか。

○事務局

「見える化」について、これまでは会議やイベントの開催回数、参加者数などモニター指標の参考として資料編に記載していました。ただ今後は、普及啓発を含めた指標としていきたいと考えています。普及啓発は見えにくいところがありますので、こういったものが効果あったのかということ「見える化」することを想定しています。またエネルギーについても、市の計画の目標値ではなく、取り組んだ効果について市民の方がすぐにわかるようなものを検討したいと考えています。

○委員

そういったタイムリーな情報発信は大事だと思います。どこの行政も目標に対する1年後の評価は資料で出されていますが、1年活動した数字として、イベントに何人集まったかということと言われても「ああ、そうか」というだけで終わってしまいます。一方で、例えばコロナ禍で家庭の電力消費量が上がっていることに気づかないまま、テレビを見たりして電力を消費している

ということもあります。実際のデータをタイムリーに発信していく仕組みが大事だと思います。1時間でも電力消費を抑えることで、これだけグラフが上がったり下がったりしています、というように、今動いているデータを示すことで市民の意識を高めるような「見える化」を模索してもらいたいと思います。

○会長

実態の「見える化」というのは十分に進んでいないということで、ある事象について具体的な効果をタイムリーに発信できればわかりやすくなりそうですね。

他にいかがでしょうか。

○委員

新たな環境教育の教材の検討について、いつも議題になりますが、豊中市では義務教育の一貫校2校の新設を進めておられるので、そこで織り込まれてはいかがでしょうか。最近の流れを見ていると、幼稚園や小学校ではごみの勉強などができており、高等学校になると将来の仕事・大学選択も見据えて、化学や生物などの専門的な勉強ができていますが、その一般教育と専門教育の間にある中学校が抜けているのではないのでしょうか。令和5年、7年にできる義務教育校で採用いただければと思います。

○会長

継続的な環境教育が必要という話題は前回もあったかと思います。今の段階で何か見通しがあればお答えください。

○事務局

幼稚園・小学校ではある程度、ごみの問題も含めて環境教育はできている状態ですが、中学校ではご指摘のとおりなかなかできていませんので、調整しながら進めていきたいと思います。2年前にはドリカムスクールなどの取組みを始め、それが広がっていけばと思っていましたが、コロナの影響などで思うように進まなかったところもあります。そのため、今後も中学校へのアプローチを検討したいと考えています。ただ、新設の2校だけで実施するというのは、統一的な環境学習という面でも難しいかもしれないので、学校教育課とも調整しながら検討したいと考えています。

○会長

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

○委員

委員のご質問は、昨年度生物多様性をテーマにされてから1年近く経ったが何か動きはあったのか、という内容だったかと思います。先ほど事務局の回答としてお示しいただいた大阪大学の事例は、今年度のテーマに関する内容のように聞こえました。今の基本計画ができたときに、意見交換会では新しい試みとして新たな評価指標を導入してみようということだったと思いますが、

何度かやっているうちに、果たしてやりっぱなしでいいのかという次の問題がでてきているところではないかと思います。そこに関して、豊中市が考えるのか、審議会で意見を出していくのかわからないのですが、10年くらいたつと同じようなテーマがまた回ってくるので、そこにつながるようにするのか、またはできるだけ違うテーマにするか、といったことも踏まえて考えていく必要があるのではないかと思います。

○会長

ありがとうございます。これまでいろいろな分野ごとにやってきましたが、分野間の連携も必要でしょう。また、多分野、多地域間の連携も積極的に進めていくという課題も見えてきました。

そういった課題も含めて、次の目標1の取組み方についても議論を進めたいと思います。それでは、意見交換会の実施結果も踏まえて、資料4-2「とよなかの環境～2020年度速報版～」について議論をしていきたいと思います。事務局から説明をお願いします。

○事務局

資料4-2の説明

○会長

速報版の内容を受けて、審議会では審議会評価を出していくこととなります。「未定稿」と書いてある環境審議会からの評価についてご意見いかがでしょうか。その前の、目標1～5についてもご質問があればお受けしたいと思います。

○委員

まずレイアウトについてお尋ねします。現在、未定稿になっている審議会の評価というページは、完成の時もこういう形で1ページのレイアウトになるのでしょうか。以前は、各目標の中に審議会の意見が入っているような形でしたが、最終的にどういう形になるのでしょうか。その上で、審議会からの評価についての意見が5点あります。

1つ目は、目標1の4つめの項目「地域の活動者をつなぐハブ機能～」です。これは前の意見交換会の一部だと思うのですが、意見交換会の総括のページにこの内容に関するものが全く入っていないため、そこを審議会で評価するのは困難ではないでしょうか。それよりも、総括では機能や施設ではなく、「仕組みのようなものが必要ではないか」ということが書かれていたので、このありかたは考えるべきだと思います。

2つ目に、目標2の2点目です。「市民一人当たりのエネルギー消費量が減少しており、所有自動車の低燃費化が進んでいる」は、所有自動車の低燃費化が進んでいるため一人当たりのGHG排出量の減少という流れが正しく、文章の順序が逆ではないでしょうか。

3点目について、目標2の3点目です。これは2020年度の過去の評価だと思いますが、ゼロカーボンシティというのはリアルタイムの評価をしているように見えます。「今後そういった改定をする中で」という言い方をしなければいけないかと思います。

4点目は目標4についてです。「コロナ禍により、イベントの多くが中止となるなか」とありますが、コロナ禍で外出が自粛される中で、公園の利用の仕方も普段と違ったのが2020年だったと

思うので、それも記述しておくべきだと思います。

関連して、「みどりのフォーラム」について、開催ではなく「検討など」ということも評価するのか疑問です。それよりも、公園利用について書かれた方がいいのではないのでしょうか。

○会長

まずはレイアウトと目標 1 について、事務局からいかがでしょうか。

○事務局

レイアウトは令和 2 年度この時期に審議会を開催できず、市民の方に分かりやすいような工夫としてこのような構成をしました。令和 3 年度は審議会も開催できたことで環境審議会からの評価をまとめて記載し、分かり易くしたいと考えています。委員がおっしゃったように、審議会の評価を各目標のところに入れることも可能ですが、全体のバランスも考えて今の状況が良いと考えています。

2 番目に、審議会評価の目標 1、3 点目についてです。過去の意見交換会で、公民館がハブ機能を持っているということや公民館があったおかげでイベントができたという意見もありました。審議会でも公民館のハブ機能についてご指摘いただいたのでこのように記載しています。

目標 2 につきましては、文章の流れを見直したいと思います。

○事務局

コロナ禍で公園利用の状況は確かに変化がありましたので、記述内容は検討します。

○委員

他の委員の意見がなければそのままでも良いですが、賛同いただくならば修正してもらえればと思います。

○会長

目標 2 は文章表現に齟齬のないようにということですね。目標 1 は総括と連動する形が望ましいかと思いますので、公民館のハブ機能の話なども、審議会評価と意見交換会の結果がつながるように留意して検討いただくと良いかと思います。目標 4 の公園の利用のところは、かなり大きく変わって新たな役割が見えてきたこともあるので、意見交換会の結果とつなげて検討いただきたいと思います。

○委員

最後にまとめのページができたのはよいですね。さらに市民の誰もがわかるように、全体を評価したグラフが真ん中あたりにあるといいかと思います。専門的な説明はこれまで書いてあるのですが、市民向けに一目で全体がわかるページがあるといいと思います。少し検討してみたのですが、レーダーチャートのように表現してみてもいかがでしょうか。どなたが見ても内容がわかること、解説が付いているとことで、わかりやすさで訴える報告書になるのではないかと思います。

○事務局

目標 1~5 をレーダーチャートのように表すことをご提案いただきました。すぐにこのような形で掲載できませんが、今後、これまでの表現の仕方を見直しながら新たな示し方を検討したいと思います。

○会長

これまでも議論は出ているが表現が難しいところです。目標 1~5 で評価 A~D となっていますが、もとは○△×と市民にもわかりやすい形だったと思います。いろいろな指標も含めながら総合的に評価していく必要があるということで、このような形になっているところがあります。

委員のご提案と併せて、個人的には目標 2~4 の評価 A、B、C、D というのも埋没してわかりにくいので検討してもらいたいと思います。

○委員

2030 年、2050 年を念頭におくと、その最終値を目的の値にして、年度毎の達成率を表せば単位が揃うと思います。最終的には、2030 年もしくは 2050 年をターゲットとして、年度で何パーセント達成できたかを示せばすべて評価できるので、そういうことまで踏み込んで欲しいと思います。

○会長

ご指摘を踏まえて検討していきたいと思います。その他いかがでしょうか。

○委員

未定稿の目標 5 では「良好な関係が維持できている」と書いてありますが、目標 5 は D 評価になっているので齟齬があると思います。騒音のことも書いておかないと疑問が出るのではないのでしょうか。

また、目標 1 では市のホームページを見るということで、家庭でこういうお話をしましょうとか、地産地消に努めましょうということがあってもいいのではないのでしょうか。また、QR コードを示すとアクセスもしやすくなるのではないのでしょうか。

目標 2 について、廃棄物は 19.9%増加という傾向も気になります。コロナの影響でしょうか。また、目標 5 の本文中に「光化学スモック」という誤字があるようです。

○会長

事務局からいかがでしょうか。

○事務局

目標 1 では市の HP を見るという記述になっているので、市の PR として、家庭でこういった取り組みも必要であるということも記載したいと思います。QR コードも活用していくようにします。環境報告書も PDF 化していますが、そういった内容も記述したいと思います。

目標 2 の廃棄物は、容器包装の搬入量が増えており、プラごみが増えてきているという状況がこの要因になります。

目標 5 で、空港があるため騒音は改善が難しいので省いた形で表現しているのですが、やはりそこも記述は調整したいと思います。また、「スモック」の誤字も修正いたします。

○委員

未定稿に関連するのですが、目標 4 の「みどり率 27%」について、わかりやすいタームとして「みどり」を打ち出されているのだらうと思いますが、芝生や公園という都市緑地だけでなく、生物多様性の豊かさを重視するという社会的な流れを考える必要があると思います。豊中市はヒメボタルの生息する山もあるなど、自然環境の豊かさをもっておられるので、もう少し枠組みを広げて、次の段階として目標 4 は生物多様性を意識した評価になってもいいのではないのでしょうか。花と緑の名所マップなども都市緑化を評価しているように見えるのですが、行政としては目標 4 をどう捉えているのですか。

○事務局

目標 4 について、緑の役割としては生物多様性というのもございますので、今後は表現も検討していきたいと思います。

○委員

市民には公園の緑が増えたというメッセージも必要ですが、豊中は自然環境の良さもあるので、そこをもっと行政としてアピールして良いのではないのでしょうか。緑、緑化、芝生というタームに縛られず、行政としては大枠で捉えてもらいたいと思います。

○会長

そういう意識は公園みどり推進課もお持ちだと思うし、思い切った施策をされているので、上手にアピールしてもらいたいと思います。

○委員

1~4 の目標の中で、4、5 の書きぶりが貧弱に見えます。1、2、3 とのバランスが気になりました。

2 点目として、協働の取組みに関する意見交換会というのは評価の対象にならないのでしょうか。湖南市からこられていた職員からももっと話を聞きたいという意見もあったので、こういった場を設けたこと自体が素晴らしいのではないかと思います。

また、意見交換会でも 3、4 の目標で「コロナ禍」ということが書かれているのですが、コロナ禍に関する評価をこの中で入れ込むのでしょうか。あるいは、別途コロナ禍についてコラム的に分けて記載する方がいい気もするのですがどうでしょうか。

○会長

最後のお話について、コロナ禍においてはライフサイエンスそのもののあり方も考えていかないといけないかと思います。審議会の評価におけるコロナ禍の取り扱いについて意見はありますか。

○委員

審議会評価やとよなかの環境でも、コロナ禍に関する記述が少ないと感じています。令和2年度はコロナ禍の影響が大きい一年だったということ、またその対策に終始したということをごどこかに書いておく必要があるのではないかと感じていました。どこに書いていいのかわからないのですが、必ず書いておく必要があると思います。

また、目標1で環境教育を実施するとありますが、「教育」という表現は大学生まではいいと思うのですが、親世代や大人への「教育」という表現には抵抗があります。委員から「家庭での会話」という提案がありましたが、「子ども世代が家庭に持ち帰って理解が広がる」という言いの方がいいのではないのでしょうか。

○会長

ありがとうございます。他にご意見はいかがでしょうか。

○委員

委員の意見に賛成します。コロナ禍については別に枠を作って、コラム的にまとめていただいても良いのではないのでしょうか。事実としてごみの排出量が増加したといったことは今のままで良いですが、それ以外でコロナ禍における影響として配慮すべき事情があれば、分けて記載すれば良いのではないのでしょうか。

○委員

目標1で「市と近隣自治体が連携して」とありますが、目標1を見ても近隣自治体との連携というイメージがよくわかりません。評価では詳細はかけないと思いますが、全体版ではわかるようになるのでしょうか。

目標2で「ゼロカーボンシティの実現に向けて地域計画の改定を進める」とありますが、地域計画というのが何をさしているかわかりにくいので、正式名称を記載した方が良いでしょう。

目標5は委員と同様です。「良好な環境が維持できている」と書かれているが、D評価になっています。航空機騒音が課題なのはわかるのですが、書きぶりは工夫したほうが良いでしょう。指標の見直しと含めて航空機騒音に関する指標も検討・見直しが必要ではないのでしょうか。D評価が続くのはいかがなものかと思えます。

○会長

ありがとうございます。

先ほどから議論していた、コロナ禍の記載は書きぶりをご検討いただきたいと思えます。

○事務局

現在、代表指標とその他の指標がありますが、要因分析を行って、影響が明確であればコロナ禍という表現を記載しています。委員のご指摘を踏まえて、コロナ禍に関する表現は検討していきたいと思えます。

目標5の航空騒音の指標についても今後検討したいと思えます。来年度環境基本計画の見直し

を行う際に、審議会の評価として考慮いたします。

目標 1 については、近隣自治体との連携について具体的に分かりやすくなるように記載することといたします。

○事務局

目標 5 のモニター指標をどのように評価するのかは環境基本計画の中で見直していきますが、審議会の評価としても提案していきたいと思います。

○事務局

委員からご指摘いただいた、大人の方への「教育」という表現については、「環境学習」という表現も検討したいと思います。

○委員

親世代への教育という表現について、例えば親世代に情報提供するという書き方もあるのではないのでしょうか。

また、目標 4 のめざしているところがわかりにくいと感じています。「家庭でできること」として「地域を美しく！」ということが書かれています。意図しているところがわかりにくいと感じています。書き方を変えるとわかりやすくなるのではないかと思います。ごみ拾いのような内容だと具体的すぎるので、なんのために掃除活動するかといったことを書く方がわかりやすくなるのではないのでしょうか。

○会長

指摘の点は担当課で検討いただきたいと思います。

○事務局

もう少し噛み砕いて、わかりやすくなるように記載させていただきます。

○委員

未定稿で、目標 4 はわかりやすい文章になっているのですが、それ以外は特に取組みが良かったという評価がされていないですね。評価する部分がなければ、次の年は同じことをやらなくても良いのではないかと、と思われる。取組んだものの評価というものも、どう良かったとか、今後期待できる部分はどうかなど書かれていた方がわかりやすいかと思います。

○会長

前向きな評価を入れてもいいのではないのでしょうか。今後さらに期待できるという事柄があればご指摘いただきたいがどうでしょうか。関連して審議会評価に入れるべき内容があればご意見をお願いします。

○委員

令和 2 年、減量計画課がエコショップの冊子を作ったのは実績として良いのではないのでしょうか。ESD リソースセンターWEB の取組みも良いと思います。SDG s パートナーシップ制度とも庁内で協働できなかったのかとは思いますが、確定版で記載するなど、環境部の実績はアピールした方が良いでしょう。

また、団体から意見を出してもらうために、令和 2 年はアンケート回答者にプレゼントを渡すなどの意見が出ましたが、SNS でシェアしてもらうことを呼び掛けるなどの工夫も必要ではないでしょうか。

○会長

市の取組みの PR、意見を貰う工夫についてはいかがでしょうか。

○事務局

審議会評価で市の取組を PR するのはどうかという意見をいただいたのですが、ここでは目標 5 の進捗状況の評価しているので、市の取組みの記載は控えているところです。確定版では市の考えを示していくようにします。

環境基本計画の速報版は市の方でも検討し、意見をいただいた方に抽選でノベルティや景品を差し上げるように予算化しています。どういった人を対象にするかは今後検討していきたいと思います。非接触型で HP 等から電子申込した方を対象にするなどの検討をしているところです。

○会長

景品も良い環境行動に結びつくものがないのでしょうか。

○事務局

現在はモバイルバッテリーのように活用いただけるものを検討しています。

○委員

目標 1 では ESG の取組みも入れたら良いかと思いました。今後の活動のヒントとして、京都では環境市民という考え方に基づいて、大学生が高校生に伝えるというプログラムもあります。そういった取組みを部門でも連携して実施したら良いのではないのでしょうか。

また、色々な自治体で、まちづくり計画の中でコロナ後のライフスタイルを大きく変えようとする動きがありますが、これは環境問題にも関わる場所です。価値観の変化などに伴い、今後目標やアプローチを変える必要があるのではないのでしょうか。グリーンリカバリーという言葉もあり、それを意識したコメントもあると良いかと思います。豊中のまちづくりの在り方なども見据えながら評価の在り方も検討できると良いのではないのでしょうか。

また、皆様が指摘されているように目標 5 は違和感があります。このまま D 評価が続くのが良いのかどうかということですが、意味のある指標に変える必要があると思います。

また、評価と、実際にやっている取組みがちぐはぐで結びつかないところもあります。壁面緑化・屋上緑化の協議などの取組みについても、評価のところでは何も書いてありません。気候変

動の適応策なども入れていくと良いのではないのでしょうか。家庭でできることも、それぞれの結びつきがわかりにくいので工夫してもらえると良いかと思います。

○事務局

コロナ禍に関する部分はまちづくりの担当課とも調整させていただきたいと思います。評価のところでは、家庭でできる取組みについての書きぶりは表現を調整させていただきます。

目標 5 は、空港がある以上騒音の項目は達成が難しいので、評価の仕方を整理していきたいと思います。評価の考え方として、改善が見られたという項目について、来年度の環境基本計画においても指標を検討したいと考えています。

○委員

環境審議会の評価に関する説明がないので、このページを作成している目的を補足するとよいかと思います。

目標 5 は、元は航空機騒音以外の騒音についても 100%達成でなければいけないという議論の趣旨だったと思います。D 評価になっているのは航空機騒音だけでの問題ではないのだと思います。その上で評価するなら、道路騒音や水質などは右肩上がりになっているので、目標に近づいているということを伝えるのが良いのではないのでしょうか。

○会長

道路騒音はなぜ良好になっているか、もし分析ができるのであれば載せていただくのが良いかと思います。

○事務局

表現は検討したいと思います。道路騒音は、代表指標の横に車両の利用減少やハイブリッド車の普及などの要因分析を記載しています。目標 5 の審議会評価でもどのように記載できるのか考えたいと思います。

○会長

交通量が減少したということでしょうか。

○事務局

交通量は変わっていないと思います。

○委員

交通量は、豊中亀岡線で交通量が減ったので都市計画道路が取りやめになったと記憶しています。交通量調査はされているのでしょうか。確認してもらえればと思います。

また、自治体間連携は自己評価が高いですが、電力の共同購入くらいで具体的なアクションプランになっていないので、単なるポーズにならないようにしてもらいたいと思います。

○事務局

自治体間連携は、はじまったところなので、絵に描いた餅にならないようにしていきたいと考えています。今後、審議会にも情報提供したいと思います。

○会長

審議会評価はご意見を受けたものについて、私と事務局で相談して整理するということがいいでしょうか。委員の皆様もご一任いただければと思います。

最後に、案件5の「その他」についてお願いします。

5. その他

○事務局

令和3年度、豊中市食品ロス削減推進計画を策定する予定です。策定は、環境審議会でも情報提供するようにいたします。

○事務局

令和4年度に第2次豊中市みどりの基本計画の中間総括の実施にあたり、令和3年度、市内の緑被量調査、市民アンケート調査を実施します。調査結果は審議会でも速報値を報告予定としています。

○事務局

温暖化対策検討部会を、8月27日の金曜日に開催します。委員の皆様には開催案内を送付しますので、どうぞよろしくお願いいたします。本日は長時間に渡りありがとうございました。

○会長

それでは本日の審議会を閉会します。

以上